

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム クローバー

作成日: 令和 4 年 7 月 7 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	現在はコロナ禍の為、書面で報告を行うことが主となっているが、コロナ収束後は、参加委員の増員やテーマを決めた会議の開催等、今後の会議の発展に向けて検討し取り組んでいく。	コロナ収束後は、入居者や家族参加、クローバーでの会議実施を行い、クローバーの現状を知って頂く機会を作る。また地域の困りごとや勉強会、防災に関する情報交換・共有などを会議の中で取扱い、事業所と地域双方の発展に繋がる会議を目指していく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	内部での勉強会は継続して行っているが、長引くコロナ禍の中で、外部研修の機会がほとんどない状況が続いている。オンラインでの研修を取り入れながら、外部研修を受けられる体制を整えていく。	職員一人ひとりの希望や能力に合わせ、オンラインを取り入れた外部研修の機会を確保し、全体の質の向上に繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。